

生活が豊かになる  
製品の品質を守る



「品質保証」の言葉の意味を常に肝に銘じる  
検査方法は様々あり、また、検査するサンプルを用意するのも高井さんの仕事。  
出荷できる製品かどうかをチェックする重大な役割に責任感と誇りを持って取り組む。

【特集】ものづくりにかける  
**仕事**  
#03  
ACE.

ジオマテック株式会社 金成工場（栗原市）  
品質保証部部品保証課 検査担当  
**高井なおさん**（27歳）  
Nao Takai

品質保証のプロとして  
誰からも頼られる存在へ

ジオマテック株式会社は東京都品川区で1953年9月、  
薄膜技術専門メーカーとして創業。  
当初の社名は松崎光学精密硝子株式会社で、  
92年に今のジオマテックに変更している。  
96年には横浜に本社を移転した。金成工場は75年の設立  
以来、ジオマテックで最大の生産規模を誇る工場として  
大きな役割を果たしている。

持ち前のアクティブさを発揮  
検査法の動画を作成し  
分かりやすいと大きな評価

高校までバドミントンに打ち込み、現在も小中学生の指導にあたっている高井さん。何事にも熱心に取り組む姿勢はバドミントンを通じて培われたようだ。「興味のあることにはのめり込む性格なんです。今は三味線とピアノにチャレンジしたいなと思っています」。アクセサリーを作った友達にプレゼントしたり、ふと思いで山や海へ車を走らせたりすることもあるそう。高井さんは実にアクティブだ。様々な検査に臨み、日々、技術を高めている最中だが、高井さんの持ち前の積極性は仕事の面でも隠れることがない。「製品の撥水性を調べる検査のマニュアルづくりを頼まれて、文書と同時に動画を作りました。スマートフォンで作業の進め方を撮影し、字幕やBGMも入れて完成させました。そうした動画は社内になかったこともあり、分かりやすいと多くの人に褒められました」  
仕事においては今後、「測定や検査に使う機器のことをもっとよく学ぶよう努めたい」と話す。「仕組みを知って、その機器の本当の意味でのプロのオペレーターになりたいですね」。高井さんは食欲に自らを高めていく。

検査する製品を手に取り、まずは目視で確認する高井さん  
部品保証課に求められるのは、丁寧で、正確かつ、公正な検査。  
高井さん含め、25人の課員が集中力高く作業にあたる

教えてください！ ACEの仕事ぶり

チャレンジ精神が旺盛  
テキパキと作業に臨み、集中力も高い

1回、2回と説明しただけで大抵の作業の進め方を分かかってしまう物覚えの良さには大変驚かされています。また、作業自体も非常にテキパキと進めてくれるので、素晴らしいなと思っています。  
いろいろなことに興味があり、チャレンジ精神も旺盛で、どんな検査方法も身に付けていっていますね。とはいえ、まだ3年目ですから、これからも今と変わらず、熱心に仕事に取り組んでもらい、もっともっと検査技術を高めていってほしいと思います。  
人柄も、仕事ぶりも非の打ち所がないので、将来はぜひ、管理職に就いて、どんどんジオマテックを引っ張ってほしいと大いに期待しています。



品質保証部部品保証課長  
**佐々木 清香さん**  
Kiyoka Sasaki

上司に  
聞いちゃいました！

product  
社会発展に役立つ  
高機能薄膜を開発し続ける

高機能薄膜技術により、ものづくりとテクノロジーの発展に貢献。  
ディスプレイ機器や自動車など多様な分野で製品が利用されている。



ジオマテック株式会社は高い技術力を世界で認められている薄膜技術専門メーカーだ。ナノレベルの精密・高精度な薄膜コーティングができる技術を磨き続け、世界中の様々な産業・分野の発展に貢献してきた。代表的な製品の1つに次世代モスアイ構造フィルムの「g.moth」がある。ガラスに貼り付けると、高い透明度を実現、また、映り込みを大幅に軽減する。さらに、水滴が玉の形状を維持するほどの接触角156.0度を記録する超撥水性を誇る。なお、g.moth®は今年1月、第13回「みやぎ優れMONO」の認定を受けている。  
このg.moth®を含め、金成工場が生産される製品の検査を担当しているのが、品質保証部部品保証課の高井なおさんだ。登米総合産業高等学校情報技術科を卒業し、今年で入社3年目。笑顔を絶やさず、ハキハキと話す高井さんは課の和ませ役であるようだ。検査する製品のサンプルを切り出す際はすぐぶる良く、高い集中力を持って検査に臨んでいる姿がはた目にも分かる。

圧倒的に映り込みが少ない  
「みやぎ優れMONO」の  
g.moth®の検査も担当

DATA 真空成膜技術のリーディングカンパニー

**ジオマテック株式会社 金成工場**  
所在地／栗原市金成金生 51 □代表取締役社長／松崎 建太郎  
□資本金／40億4,385万円 □設立／1953年9月 □従業員数／544人（2021年8月現在、連結で）  
□事業内容／フラットパネルディスプレイ用基板、光学機器用部品、その他真空成膜製品の製造及び販売  
□企業理念／地球、人類、技術の融合により、明るく豊かな未来を創造する  
TEL 0228-42-3001（金成工場） <https://www.geomatec.co.jp/>



【特集】ものづくりにかける  
**仕事**  
**凶鑑**  
 #04  
 ACE.

角田精工株式会社(角田市)

第二工場成形グループ 成形技師

**佐藤 静也** さん (24歳)

Shizuya Sato



射出成形機の調整が佐藤さんの最大の役割だ  
 佐藤さんは第一工場に22台ある射出成形機への  
 金型の取り付けや、メンテナンスを一手に任されている

不良品率削減目指して  
 精進しています

現会長の大石貞雄さんがプラスチック加工部品の製造を行うべく、  
 1987年に設立した角田精工。  
 順調に社業は伸長するも、2008年のリーマン・ショックでは大きな影響を受けた。  
 その後、取引先の拡充を図り、改めて今、成長路線を走る。

成形技師になって1年5カ月余り  
 資格取得にも真剣に取り組む  
 会社発展のため精進重ねる

不良品を出す・出さないは自分の腕次第  
 射出成形機の調整の肝は、材料を流す速度と圧力。速度が遅く、圧力が弱いと金型への充てん不良が起こり、成形品に「欠け」が生まれ、逆に速く、強いと材料が漏れ出る。実に絶妙な調整が必要だ。

生活を支える部品の生産に  
 誇りを抱く

入社後、配属されたのは第一工場成形グループ。働きぶりは実に真面目で、グループマネージャーの國分順一さんは佐藤さんを「飲み込みがすごく早いです」と評す。佐藤さんが成形技師になったのは昨年4月。佐藤さんは、「機械に金型を取り付けたり、材料を流す速度や圧力を調整したり、また、機械にトラブルがあれば、それに対応するのも成形技師の仕事です。はつきり言って初めは自分に務まるの不安でした」と語りつつ、「その反面、頼りにされているのはうれしいことで、自然と身が引き締まりました」と当時を振り返る。成形技師となり1年5カ月余り、「まだ、機械の調整に手間取る時はありますが、徐々に思い描いたとおりにできることが増えてきました。1日全てうまくいくと、とても達成感があります」。会社がそもそも推奨していることもあるが、資格取得にも佐藤さんは前向き。この3月にはプラスチック成形技能士2級に合格した。それでも、「自分はまだまだ知識が足りません」と謙虚さは失わない。「もともとと精進していきます」と意欲的に自らを成長させていく。

教えてくだない! ACEの仕事ぶり

いつも明るい愛されキャラ  
 挑戦者精神があり知識・技術の習得に貪欲です



上司に  
 聞いてやりました!

第一工場成形グループマネージャー  
**國分 順一** さん  
 Junichi Kokubun

明るい性格で、会社内では本当に「愛されキャラ」ですね。先輩からいつも可愛がられています。距離感も心地よい感じで取ってくれるので、ちょっとしたお願いや指示も上司としては出しやすく、非常に頼れる部下であり、また、大いに助けられています。昨年4月からは成形機への金型の取り付けや、メンテナンスを行う技師として活躍してくれていますが、挑戦者精神が旺盛で、知識・技術を習得しようという意欲も非常に高いです。また、常にトラブルはないかと目を配ってくれていて、何かあればすぐ解決しようという姿勢は非常に素晴らしいです。これからも一緒に会社、さらには社会の発展に向けて力を合わせて取り組んでいければと思っています。

product  
 金型製作から量産まで  
 一括請負で強みを発揮

プラスチック製品向け金型の設計・製作からプラスチック製品の量産まで対応。高品質・短納期の実現に会社一丸で取り組む。



社員の平均年齢が38歳  
 切磋琢磨し社内には活気  
 未来志向で事業に取り組む

プラスチック製品の成形加工、特に極小部品の製造に強みを持つ角田精工株式会社は現在、社員の平均年齢が38歳。大石晃寛社長も話すとおり、実に「フレキシブルさが特長の企業」だ。2008年のリーマン・ショック後、受注が落ち込み、泣く泣く従業員数を減らした経験がある。そこから、取引先を拡充、加えて、企業の持続的発展を図るべく「採用活動に力を入れ、毎年、2、3人は必ず採用してきました」。結果、現在63人いる社員のうち、半分以上が08年以降の入社。「若手が育って、切磋琢磨し合う空気があります」と大石社長は話す。

国際規格であるISOの取り組みにも積極的で、品質マネジメントシステムのISO9001を2003年11月に、環境マネジメントシステムのISO14001を07年12月に取得。18年には、同年国内で数社しか選ばれなかったISO14001優秀活動賞を受賞している。この角田精工で今、着実に自身のスキルを高め、社内での存在感を高めているのが入社7年目の佐藤静也さんだ。

DATA 極小プラスチック部品で強みを発揮

**角田精工株式会社**  
 □所在地/角田市角田字西田168-20 □代表取締役/大石 晃寛  
 □資本金/1,500万円 □設立/1987年5月 □従業員数/63人(2021年8月現在)  
 □事業内容/プラスチック製品向けの金型の設計・製作、プラスチック製品の成形加工  
 □経営理念/顧客の立場になって仕事を行う、社員の生活向上に努力する、我社の安定成長に全力を尽くす  
 TEL 0224-63-3750 <https://kakuda-seiko.jimdofree.com/>

